



ひしのみ

山形市立明治小学校
学校だより
R4.3.1発行
第18号
校長 横山 聡

心のこもった「6年生を送る会」!! 「ありがとう」の気持ちが伝わりました



2月24日(木)に、「6年生を送る会」が開かれました。今まで学校のリーダーとして委員会活動や、なかよし班活動、運動会・創立記念式などの学校行事をリードしてきた6年生へ1年生～5年生が感謝の気持ちを伝える会です。

運営の中心となる5年生は、「プログラム・BGM」「クイズ」「装飾」「プレゼント」の4チームに分かれて準備に取り組んできました。その姿から、「オンラインでも、6年生一人一人に感謝が伝わるような会にするんだ」という気持ちが伝わってきました。

当日、5年生全員が役割分担をして作成したパワーポイントをもとに送る会が進行しました。子ども達は、テレビモニター越しですが、6年生に感謝の気持ちを伝えようと積極的に参加していました。

下級生から心のこもった「ありがとう」をもらった6年生は、「頑張って取り組んできてよかった」と達成感を感じたようです。会の終了後、廊下から大きな声で5年生に「ありがとう～!」と伝えていました。

その声を聞いて、5年生は会をやり遂げたという喜びと、明治小のリーダーとして活動していく自信を得ることができたようです。心あたたまる、そして心に残る「送る会」となりました。

～ プログラム ～

1. はじめの言葉
2. 実行委員長あいさつ
3. 6年生紹介
4. お楽しみタイム
(6年生クイズ)
5. 6年生へ色紙のプレゼント
6. 6年生との思い出発表
7. 6年生から
8. 校長先生の話
9. 終わりの言葉

この6年間で一番の思い出は何? と聞いて、修学旅行と答えた人は、**16人**中何人でしょう?

- 1 **16人**中**8人**
- 2 **16人**中**16人**
- 3 **16人**中**11人**

プログラム4.「6年生クイズ」
5年生が作成したパワーポイント。「6年生紹介」も一人ずつシートを作って紹介しました。



プログラム4.「6年生クイズ」
クイズの答えを手を挙げて示しています。どの学年も大盛り上がりでした。



プログラム5.
「6年生へ色紙のプレゼント」
たてわり班のメンバーからのメッセージを食い入るように読んでいました。



送る会を終えて…
6年生が下級生に画面を通じて大きく手を振ってお礼の気持ちを伝えていました。



プログラム7.「6年生から」 16名でつくり上げたソーラン節を録画で披露しました。

学校・家庭・地域で連携しながら④

今回は、「1. 自己を支える資質・能力」の3番目に挙げている「**基本的自尊感情・社会的自尊感情**」についてです。

基本的自尊感情…成功や優越とは無関係に自分のよいところも悪いところもあるがままたまに受け入れ、自分を大切な存在として尊重する感情です。「生きていていい」、「このままでいい」、「これ以上でも以下でもない」、「自分は自分」と無理なく自然に思える、絶対的で無条件の感情です。

身近にいる信頼する人と体験と感情の共有を繰り返すことによって、少しずつゆっくりと、薄紙をのり付けしながら重ねていくようにして形成され、しっかり固まると容易には揺らがない程、強くなります。

社会的自尊感情は、社会の中で自らの評価を求めて生きる欲求を持つ私たちにとって欠かせない感情ですが、その場の状況や状態に左右されやすい不安定な特徴があります。基本的自尊感情は、社会的自尊感情を支える役割を果たし、人生における挫折や困難を乗り越える原動力になる感情とも言えます。学校生活では、そもそも競争や比較が生じやすいので、意図的・重点的に育成していくのは、基本的自尊感情ととらえています。

そのための原則として、一緒に体験をする(成功体験も失敗体験も共有する)

→成功したときは一緒に喜び、失敗した時は一緒に悔しがります。失敗したときに叱ったりすると基本的自尊感情を醸成できません。次にどうすればいいのかを共に考えます。職員もどのような場面でどのような声かけをしていくことがふさわしいのか日々考えながら子ども達と接しています。

明治小の子ども達に育てたい力(資質・能力)



5年生から お米のプレゼント

5年生は、総合的な学習の時間と社会科の授業で米作りについて学習してきました。田んぼを貸して下さっている室岡和征さんをはじめ、JA青年部の方々にご協力いただき、無事に収穫したお米を一家庭一袋ずつお配りしました。「はえぬき」2合分です。ラベルも5年生一人一人がどんな内容・デザインにするか考えて作りました。5年生にとって貴重な学びの機会となりました。

